

## 平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL <https://www.okwave.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	1,176	1.3	98	538.4	88	106.4	70	87.6
29年6月期第2四半期	1,161	△1.4	15	△68.1	42	△11.8	37	42.6

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 72百万円( -%) 30年6月期第2四半期 4百万円(△84.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	8 05	8 00
29年6月期第2四半期	4 29	4 28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	1,941	1,593	81.1
29年6月期	1,850	1,491	80.0

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 1,573百万円 29年6月期 1,479百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
29年6月期	—	0 00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日~平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,800	16.1	300	78.7	270	47.6	170	37.5
								19 47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年6月期2Q	8,732,200株	29年6月期	8,732,200株
30年6月期2Q	60株	29年6月期	60株
30年6月期2Q	8,732,140株	29年6月期2Q	8,729,709株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①全般的概況

当第2四半期連結累計期間(平成29年7月1日～平成29年12月31日)における売上高は、ナレッジインテリジェンス事業での一部サービスに外的環境の変化があったことや多言語CRM事業での受注単価の下落など減少要因がありますが、エンタープライズソリューション事業の「OKBIZ.」が新規受注数において過去最高を実現し、また、解約数も前年と比べて抑制できていることなどから、連結では1,176,930千円(前年同期比1.3%増)となりました。

営業利益は、原価構造の見直しや業務効率の改善、外注費や広告宣伝費等の適正な運用を継続して進めることで98,238千円(前年同期比538.4%増)、経常利益は88,460千円(前年同期比106.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は70,304千円(前年同期比87.6%増)と全てにおいて増益となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	1,176,930	15,245	+1.3
営業利益	98,238	82,848	+538.4
経常利益	88,460	45,595	+106.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	70,304	32,829	+87.6

## ②事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

## ・ナレッジインテリジェンス事業の概況

ナレッジインテリジェンス事業では、日本最大級のQ&Aサイト「OKWAVE」の運営や3,000名以上の専門家が回答してくれる「OKWAVE Professional」などを運営しており、また、顧客参加型サポートコミュニティツール「OKBIZ. for Community Support」、「OKWAVE JOIN」、「OKBIZ. AI Knowledge」など、Q&Aサイト「OKWAVE」と連携した企業向けサービスを提供しております。

「OKWAVE」に投稿され、SNSで話題を呼んだ新米ママの育児の悩みと感動的な回答をもとにした動画「ママへ」をトヨタ自動車制作し同社サイトに公開しました。このように企業にも採用されるような感動的なQ&A、役に立つQ&Aをより一層引き出すため、当四半期においては会員ユーザー向けの顕彰プログラム等を刷新しました。

この「OKWAVE」会員ユーザーの回答力を顧客サポートに活用できる「OKBIZ. for Community Support」、商品の利用シーンやトレンドにまつわるQ&Aや回答者を顧客サポートやマーケティングに活用できる「OKWAVE JOIN」、顧客サポートに特化した対話型AIエージェント「OKBIZ. AI Knowledge」など、Q&Aコミュニティを活用した法人向けソリューションの売上が堅調に推移しましたが、広告売上は減少したため、売上・セグメント利益ともに前年同期実績を下回りました。

今後の収益化施策として、法人向けサービスの拡大に加え、「OKWAVE」上で質問者が回答者と一対一で個別相談ができる個人課金型の相談サービス「非公開Q&A」の提供を開始しました。

以上の結果、業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	188,348	△11,618	△5.8
セグメント損失(△)	△54,574	△7,705	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBIZ.（オウケイビズ）」等、企業向けのソリューションを提供しています。また当事業のビジネスモデルは、「OKBIZ.」導入に際する初期構築費と月額利用料ならびに利用量に応じた従量課金にて構成しております。

直販ならびにパートナー企業経由の間接販売が堅調に推移し、金融、製造、ソーシャルゲーム、自治体など幅広い業界の大手企業への新規受注により、第2四半期累計で過去最高の新規導入数（42サイト）を実現しました。これにより売上高は、前年同期比7.4%増の成長を遂げています。

利益におきましても前年同期比17.0%増と、引き続き増益を達成しています。

以上の結果、業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	680,309	47,132	+7.4
セグメント利益	376,114	54,572	+17.0

・多言語CRM事業の概況

多言語CRM事業は、連結子会社の㈱ブリックスにて運営している24時間365日体制の多言語コンタクトセンターです。

当第2四半期累計期間におきましては、訪日外国人客の増加や東京五輪開催決定を追い風に、地方自治体や医療分野、鉄道などの案件が増加しております。これにより多言語コンタクトサービスの基幹事業である電話通訳の案件が堅調に伸びております。前年同期は一時的な受託案件があったため前年同期比では売上は減少したものの、費用の見直しを継続的に実施していることから利益は引き続き伸長しました。

以上の結果、業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	308,272	△20,268	△6.2
セグメント利益	80,672	19,847	+32.6

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (ア)資産

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、「現金及び預金」が減少したものの、主に「販売用不動産」及び「投資有価証券」が増加したことにより1,941,066千円（前連結会計年度末比90,099千円増加）となりました。

#### (イ)負債

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「前受金」及び「未払金及び未払費用」の減少により347,444千円（前連結会計年度末比11,948千円減少）となりました。

#### (ウ)純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に「資本剰余金」、「利益剰余金」及び「非支配株主持分」の増加により1,593,622千円（前連結会計年度末比102,048千円増加）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ128,407千円減少し、671,074千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上があったものの、たな卸資産の増加により、9,728千円の支出となりました。（前年同期は40,666千円の収入）

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産取得及び投資有価証券の取得による支出により、144,981千円の支出となりました。（前年同期は175,107千円の支出）

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金返済による支出があったものの、非支配株主からの払込みによる収入により、26,400千円の収入となりました。（前年同期は2,926千円の支出）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	799,481	671,074
受取手形及び売掛金	372,742	309,428
販売用不動産	—	123,398
商品及び製品	—	10,000
仕掛品	150	1,725
その他	108,863	129,278
貸倒引当金	△873	△752
流動資産合計	1,280,363	1,244,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,870	75,737
減価償却累計額	△61,320	△61,526
建物及び構築物(純額)	13,549	14,210
工具、器具及び備品	388,592	409,053
減価償却累計額	△322,126	△328,954
工具、器具及び備品(純額)	66,466	80,098
有形固定資産合計	80,015	94,309
無形固定資産		
ソフトウェア	69,880	79,851
ソフトウェア仮勘定	3,400	37,511
その他	15,514	15,610
無形固定資産合計	88,795	132,973
投資その他の資産		
投資有価証券	235,421	302,285
その他	224,759	235,393
貸倒引当金	△58,388	△68,047
投資その他の資産合計	401,792	469,631
固定資産合計	570,603	696,914
資産合計	1,850,967	1,941,066
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,157	39,440
未払金及び未払費用	176,101	165,620
未払法人税等	24,961	24,276
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	61,677	65,196
流動負債合計	310,097	301,734
固定負債		
長期借入金	16,400	12,800
資産除去債務	32,894	32,909
固定負債合計	49,294	45,709
負債合計	359,392	347,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,017	984,017
資本剰余金	953,817	977,757
利益剰余金	△438,600	△368,295
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,499,198	1,593,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	221
為替換算調整勘定	△19,239	△19,967
その他の包括利益累計額合計	△19,239	△19,745
新株予約権	10,837	10,751
非支配株主持分	778	9,174
純資産合計	1,491,574	1,593,622
負債純資産合計	1,850,967	1,941,066



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,161,685	1,176,930
売上原価	596,870	586,529
売上総利益	564,814	590,401
販売費及び一般管理費	549,425	492,163
営業利益	15,389	98,238
営業外収益		
受取利息	713	3,407
貸倒引当金戻入額	877	—
為替差益	28,708	449
雑収入	406	1,737
営業外収益合計	30,706	5,594
営業外費用		
支払利息	360	270
貸倒引当金繰入額	—	9,658
支払手数料	2,600	4,750
雑損失	269	693
営業外費用合計	3,230	15,372
経常利益	42,864	88,460
特別利益		
新株予約権戻入益	216	86
特別利益合計	216	86
特別損失		
固定資産除却損	109	413
減損損失	1,720	—
投資有価証券評価損	—	2,693
特別損失合計	1,829	3,107
税金等調整前四半期純利益	41,251	85,439
法人税、住民税及び事業税	4,177	13,427
法人税等調整額	—	△628
法人税等合計	4,177	12,798
四半期純利益	37,073	72,640
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△401	2,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,475	70,304

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	37,073	72,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	221
為替換算調整勘定	△32,818	△727
その他の包括利益合計	△32,818	△505
四半期包括利益	4,255	72,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,656	69,798
非支配株主に係る四半期包括利益	△401	2,335

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	41,251	85,439
減価償却費	35,757	48,561
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△935	9,537
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	—
受取利息及び受取配当金	△713	△3,407
支払利息	360	270
為替差損益(△は益)	△13,895	△630
新株予約権戻入益	△216	△86
固定資産除却損	109	413
減損損失	1,720	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,693
売上債権の増減額(△は増加)	31,600	63,313
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,947	△134,973
前払費用の増減額(△は増加)	△9,156	△44,397
未収入金の増減額(△は増加)	459	△1,346
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,733	△716
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△2,720	△5,139
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,385	△2,897
前受金の増減額(△は減少)	△35,141	△7,419
預り金の増減額(△は減少)	4,694	12,184
その他	△2,926	△18,906
小計	50,077	2,491
利息及び配当金の受取額	1,134	456
利息の支払額	△359	△269
法人税等の支払額	△10,186	△12,409
法人税等の還付額	1	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,666	△9,728
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,128	△37,033
無形固定資産の取得による支出	△49,419	△75,740
投資有価証券の取得による支出	△72,200	△35,000
貸付けによる支出	△22,200	—
貸付金の回収による収入	1,038	2,726
差入保証金の差入による支出	—	△84
差入保証金の回収による収入	3,000	—
その他	△1,198	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,107	△144,981
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の返済による支出	△3,600	△3,600
株式の発行による収入	673	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,926	26,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,674	△97
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△160,042	△128,407
現金及び現金同等物の期首残高	874,835	799,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	714,793	671,074

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ナレッジインテ リジェンス事業	エンタープライ ズソリューション事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	199,966	633,177	328,540	1,161,685	—	1,161,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	19	1,519	△1,519	—
計	199,966	634,677	328,560	1,163,204	△1,519	1,161,685
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△46,869	321,542	60,825	335,498	△320,109	15,389

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに  
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ナレッジインテリジェンス事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該  
減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,720千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ナレッジインテ リジェンス事業	エンタープライ ズソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	188,348	680,309	308,272	1,176,930	—	1,176,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,881	1,500	—	30,381	△30,381	—
計	217,229	681,809	308,272	1,207,311	△30,381	1,176,930
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△54,574	376,114	80,672	402,212	△303,974	98,238

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに  
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結累計期間より、企業戦略を明確化することを目的として、従来「ソーシャルメディア事業」と表示していたセグメントの名称を「ナレッジインテリジェンス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。